

V めぐろ学校サポートセンターの事業

目黒区めぐろ学校サポートセンターは、めぐろ学校教育プランが掲げる「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を目指し、平成20年度に旧守屋教育会館の業務を拡充し設置されました。めぐろ学校サポートセンターは、「教職員サポート」「学習・相談サポート」の2つの基本的サポート機能をもち、教職員の研修や子どもたちの教育に関する支援を行っています。

1 教職員サポート（教職員の支援及び育成に関する事業）

教職員の研修

職層研修 15 回、必修研修 29 回、課題別研修 23 回、特別支援教育等研修 15 回、その他 1 回計 84 回の研修を実施し、延べ 10,151 名の参加がありました。

（令和6年3月31日現在）

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
職層研修	校・園長研修	小・中学校長、幼稚園・こども園長	・「令和の日本型学校教育」の姿として求められる「個別最適な学び」と「協働的な学び」について	1	34
	副校・園長研修	小・中学校副校長、幼稚園・こども園副園長	・学校における働き方改革	1	34
	新補・転補校・園長研修	新補・転補小・中学校長及び幼稚園・こども園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	6
	新補・転補副校・園長研修	新補・転補小・中学校副校長及び幼稚園・こども園副園長	・目黒区教育委員会における教育の推進について	1	9
	主幹教諭研修	小・中学校主幹教諭	・学校におけるミドルリーダーの在り方	1	53
	主幹教諭任用時研修	令和5年度新規主幹教諭及び4年度までの未修了者	eラーニング研修2回+オンライン研修1回 ・主幹教諭の職及び主幹教諭に望むこと ・服務事故防止、危機管理等	3	24
	主任教諭任用時研修	令和5年度新規主任教諭及び4年度までの未修了者	eラーニング研修2回+集合研修1回 ・教育現場におけるコミュニケーション ・主任教諭の役割と人材育成	3	54
	学校マネジメント講座	本人の希望及び管理職推薦者	・特色ある学校づくり等 ・教育委員会の組織と役割等 ・服務事故防止、危機管理等 ・教育委員会施策等	4	31
必修研修	初任者研修	初任者研修対象者（新規採用教員、期限付き任用教員） [幼稚園・こども園教諭は、区における研修の一部を受講]	・教師としての心構え、目黒区の教育施策、人権を尊重した教育の推進、サービスの厳正 ・新規採用者に向けて、接遇・マナー、保護者対応等 ・授業力向上に向けて（全5回） ・事故の未然防止 ・児童・生徒理解について ・1年間のまとめ	10	388
	初任者集中研修等	令和5年度新規採用教員及び4年度期限付き任用教員	・夏季集中研修 ・巡回訪問 ・課題別研修	4	151

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
必修研修	2 年次研修	初任者研修を修了した 2 年目教員	・実践的な指導力の向上 ・授業研究の実際	3	113
	3 年次研修	2 年次研修を修了した 3 年目の教員	・実践的な指導力の向上 ・授業観察 ・授業力向上に向けて	4	131
	中堅教諭等資質向上研修 I	中堅教諭等資質向上研修 I 対象者	・授業力の分析と課題設定、学習評価の改善等 ・生活指導、学級経営 ・教育法規等 ・服务等 ・人権教育等 ・授業研究の実際（全 3 回）等	8	157
課題別研修	人権教育研修	こども園・幼・小・中教諭・主幹等人権教育担当者及び希望者・中堅教諭等資質向上研修 I 対象者	・偏見や差別への取り組み ・人権教育における実際の指導	4	786
		全教職員	・人権教育に関する確認（e ラーニングによる研修）		
	小学校就学前教育研修	幼稚園・こども園及び小学校教員、私立幼稚園及び公・私立保育園希望者	・円滑な接続を図った幼児教育の指導	1	87
	実務担当者研修	各種担当教員	・各種担当教員としての実務能力の伸長（毒物・劇物管理研修、いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議担当者研修）	8	156
			・ I C T 活用推進研修 ①～⑤		
			・理科指導者研修		
	e ラーニング全教職員悉皆チェック研修	全教職員	・今日的な教育課題に対する理解・対応力の向上	10	6,797
特別支援教育等研修	特別支援教育研修	教務主幹・生活指導主幹、研究主任及び特別支援教育コーディネーター	・学級経営のユニバーサルデザイン ・教科指導におけるユニバーサルデザイン ・通常の学級における授業のユニバーサルデザイン	3	107
	特別支援学級・特別支援教室研修	特別支援学級担当教員・特別支援教室担当教員及び希望者	・児童・生徒の自己肯定感を高める教材・教具の工夫 ・自立活動の指導を振り返って ・年長・学童期の初回面談について ・ADHD・自閉症の特性及び発達段階を踏まえた自立活動の指導 ・障害のある児童生徒のキャリア教育及び就労支援のあり方	5	77
	教育相談初級研修	2・3 年次の全教員（2 年間で受講）及び希望者	・学校教育相談の心得 ・グループアプローチの実際 ・虐待・ネグレクトへの対応 ・ソーシャルスキルトレーニングの実際 ・認知行動療法の実際 ・不登校の未然防止と早期解決に向けて ・性の多様性の理解と対応	7	246

研修種別	研修名	対 象	内 容	実施回数	参加者数
	特別支援教育に関する今日的な教育課題への対応	全教職員	・障害者差別解消法の理解	1	632
その他	着任研修	令和5年度から新たに目黒区に着任した教職員、産・育休代替教員、学習指導講師	・目黒区の特色ある教育活動について等	1	78

2 学習・相談サポート（学習支援教室の運営及び教育相談に関する事業）

(1) 学習支援教室

ア 学習支援教室「めぐろエミール」の運営

不登校の中学生を対象に適応指導教室として「めぐろエミール」を平成7年6月に開設しました。現在は居場所機能の充実を図るとともに、長期欠席の児童・生徒を対象とした学習支援教室として、一人ひとりの状態に応じた学習支援を行い、集団生活への適応を図り学校復帰を目指しています。

開室場所	めぐろ学校サポートセンター 3階
開室日	週5日（月曜日～金曜日）
開室時間	午前9時～午後3時 水曜日は午前12時まで
通級児童・生徒数	100名
指導体制	11名
活動内容	相談活動（生活相談、学習相談、進路相談等） 学習活動（各教科の学習支援） 体験活動（レクリエーション、調理実習、校外学習等）

イ メンタルフレンド事業

平成10年9月から実施している事業で、長期欠席児童・生徒の自宅・学校へ「メンタルフレンド」を派遣し、話し相手や相談相手になり、一緒に遊ぶ等のふれあいを通して自分自身を見つめさせ、人や社会との関わり方を身に付けさせることを目的としています。

大学と連携した新たなメンタルフレンド事業を平成24年度から試行で実施し、平成25年度からメンタルフレンドが学習支援教室「めぐろエミール」や学校、長期欠席児童・生徒の自宅で活動しています。

登録者数 18人 （令和6年3月31日現在）

(2) 教育相談

児童・生徒及び幼児の心身の健全な発達を図るため、発達障害、学業上の問題、進路等、不登校、性格・行動上の問題、学校・教師・学校生活、友人関係、精神・身体・健康、家庭生活・子育て・しつけ等、教育上の諸問題について保護者、児童・生徒の相談に応じました。また、各学校・園での教育相談活動を支援するため研修会を開催する等、多様化する相談業務に対応できるよう努めました。

ア 教育相談員構成

教育相談員（心理相談専門員）13名 （令和6年3月31日現在）

イ 来室教育相談

毎週月曜～土曜日（午前10時～午後5時） 開室日数 290 日

ウ 電話教育相談

毎週月曜～金曜日（午前10時～午後5時） 受付日数 240 日

夏の電話相談（8/22～8/24） 相談件数 0 件

来室相談者数（令和6年3月31日現在）

性別 対象者	男	女	計	%
幼児	5	3	8	1.5
小学生	223	109	332	63.6
中学生	68	75	143	27.4
高校生	16	20	36	6.9
その他	3	0	3	0.6
合 計	315	207	522	100.0

来室相談主訴（男女別）（令和6年3月31日現在）

性別 内容	男	女	計	%
発達障害	3	4	7	1.3
学業上の問題	70	28	98	18.8
進路等	5	2	7	1.3
不登校	64	79	143	27.4
性格・行動上の問題	149	81	230	44.1
学校・教師・学校生活	7	2	9	1.7
友人関係	2	3	5	1.0
精神・身体・健康	3	2	5	1.0
家庭生活・子育て・しつけ	12	6	18	3.4
その他	0	0	0	0
合 計	315	207	522	100.0

来室相談状況（延べ人数）

（令和6年3月31日現在）

来室者 性別	幼児	小学生	中学生	高校生 その他	教師 その他	保護者	電話での 対応	延べ人数
男	0	774	199	77	0	201		
女	11	405	173	140	0	1,817		
計	11	1,179	372	217	0	2,018	195	3,993

電話教育相談人数（令和6年3月31日現在）

相談者	人数	%
保護者	71	86.5
本人	3	3.7
その他	8	9.8
計	82	100.0

電話教育相談 内容別人数

（令和6年3月31日現在）

性別 内容	男	女	不明	計	%
発達障害	4	2	0	6	7.3
学業上の問題	2	1	0	3	3.7
進路等	3	2	0	5	6.1
不登校	13	11	0	24	29.3
性格・行動上の問題	8	4	0	12	14.6
学校・教師・学校生活	10	3	0	13	15.9
友人関係	0	1	0	1	1.2
精神・身体・健康	0	1	0	1	1.2
家庭生活・子育て・しつけ	7	1	0	8	9.8
その他	7	1	1	9	11.0
合 計	54	27	1	82	100.0

(3) 不登校の状況

目黒区立小・中学校における令和5年度の不登校児童・生徒（※注）数は、小学生192人、中学生227人、合計419人です。

（注）不登校児童・生徒：文部科学省の調査において、年度中に30日以上欠席した児童・生徒で、何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、児童・生徒が登校しない、あるいはしたくともできない状況にある者（ただし、「病気」や「経済的理由」、「新型コロナウイルス感染症回避」による者を除く。）をいう。

(4) スクールカウンセラー

小・中学校、幼稚園・こども園の教育相談の充実を図るために、小学校には延べ区33人（22校）、都23人（22校）、中学校には都11人（9校）、区16人（9校）のスクールカウンセラーを派遣しています。幼稚園・こども園には区3人（3園）のスクールカウンセラーを派遣しています。

ア 目的

学校における児童・生徒に関わるいじめや不登校及び集団不適應等の問題の解決、並びに発達障害等の支援をしています。また、児童・生徒や保護者、教職員への相談活動を行っています。

イ 内容

- （ア）児童・生徒等の行動観察とカウンセリングや行動観察に基づく保護者・教員へのカウンセリング及びコンサルテーションを行っています。
- （イ）いじめや不登校、集団不適應及び発達障害に関する事例研究等や校内研修会での助言等、支援を行っています。
- （ウ）小学校には週2～4回、中学校には週3回、幼稚園・こども園には月3回の割合で定期的に派遣しています。

ウ 令和5年度スクールカウンセラーの延相談回数

（令和6年3月31日現在）

小学校		中学校		幼稚園・こども園	
児童	5,653	生徒	3,207	園児	10
保護者	3,362	保護者	1,213	保護者	157
教員	9,563	教員	4,572	教員	108
その他	232	その他	168	その他	6
計	18,810	計	9,160	計	281
行動観察	11,886	行動観察	2,550	行動観察	433

エ その他

区と都のスクールカウンセラーの連絡会を年3回実施し、スクールカウンセラー同士が情報交換や情報共有をして、連携していけるようにしました。さらに、第2回スクールカウンセラー連絡会において講師を招聘し、相談業務の改善に役立てる研修会を実施しました。

(5) スクールソーシャルワーカー

児童・生徒の様々な問題に対応するため、福祉の専門家として令和5年度は4名のスクールソーシャルワーカーを、めぐろ学校サポートセンターに配置しています。

ア 目的

不登校や虐待、非行等を問題解決するために、学校や家庭、関係機関等と連携し直接的・間接的に児童・生徒とその保護者等と関わり支援しています。

イ 内容

学校や関係機関等と連携し児童・生徒が置かれた環境への働き掛け（保護者、教職員等に対する支援・情報提供など）を行っています。

ウ 令和5年度スクールソーシャルワーカーの対応回数

訪問・連携等の延べ回数(関係所管別)

(令和6年3月31日現在)

学校	家庭	教育委員会関係	関係機関	その他	合計
352	515	68	36	60	1,031

※関係機関とは、子ども家庭支援センター及び児童相談所です。

3 その他のサポート機能

(1) 夏休み優秀作品展

平成22年度までめぐろ学校サポートセンターを会場に「夏休み理科作品展」として作品を展示していましたが、平成23年度から「夏休み優秀作品展」として区公式ウェブサイト上で作品を紹介しています。

夏休み優秀作品展

期 間	令和5年10月20日（金）～1年間
出品数	小学校347点 中学校36点 計383点

(2) 教育資料の整備・活用（令和5年度実績）

ア 教科書センター

使用する小・中学校の教科書を法定展示として、令和5年6月6日から7月3日までめぐろ学校サポートセンター2階の教科書センターにて展示しました。なお、目黒区立学校で使用している教科書は常時展示しています。

イ 図書資料室

教育に関する調査・研究収録、専門図書、教育に関する出版刊行物を常時展示し、学校教職員及び教育委員会関係者の閲覧に供しました。

ウ 教材貸出

音楽授業で活用するため和楽器（琴）を各学校に貸し出しました。

小学校15校、中学校6校（延べ197面）

(3) 視聴覚ライブラリー

学校教育における学習指導の補助教材として、また、社会教育活動の学習資料として、「視聴覚教材」は活用されています。

視聴覚機材利用状況

施 設	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤ ー	CD ラジカセ	スピーカ ー	マイク	プロジェク ター	実物投影機	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育委員会各課	0	0	12	0	42	23	5	0	82
他（区各課）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0	0	0	0	0	0

施 設 区 分	機 材								合計
	VHS デッキ	DVD プレーヤー	CD ラジカセ	スピーカー	マイク	プロジェク ター	実物投影機	他	
児童館	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学童保育クラブ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
私立幼稚園、小学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	12	0	42	23	5	0	82

教材利用状況

施 設 区 分	教 材			計
	16ミリ教材	VTR教材	他	
幼稚園・こども園、 小・中学校	0	0	0	0
教育委員会	0	0	0	0
他（区各課）	0	0	0	0
保育園	0	0	0	0
児童館	0	12	0	12
学童保育クラブ	0	0	0	0
私立幼稚園、小学校	0	0	0	0
AVL登録団体	0	0	0	0
合 計	0	12	0	12

(4) めぐろ学校サポートセンター施設の利用提供

児童・生徒の利用、教職員の研修・研究及び調査、学校教育事業、その他教育委員会の教育の充実・振興を図るため、研修室、理科室・音楽室を設置して、その利用に供しました。

新型コロナウイルスワクチン接種会場として使用していたため開放利用を中止していた体育館及び運動場は、令和5年6月10日に利用を再開しました。

研修室等利用実績

(令和6年3月31日現在)

	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	音楽室	理科室	計
回数	196	152	145	139	22	46	700
人数	3,864	1,414	1,295	858	453	542	8,426

体育館・運動場利用実績 (令和5年6月10日～令和6年3月31日現在)

	体育館	運動場	計
回数	384	262	646
人数	7,316	5,825	13,141